

# 北海道企業局工業用水道事業経営評価委員会議事要旨

## (開催要領)

- 1 開催日時：平成 23 年 9 月 5 日(月) 15:00~16:30
- 2 開催場所：北海道企業局大会議室(道庁別館 10 階)
- 3 出席委員(五十音順)

委員	安達 陽子	安達中小企業診断士事務所所長
委員	原田 実	(株)北海道二十世紀総合研究所取締役調査研究部長
委員	平池 暁	北海道経済連合会企画総務部長
委員長	湊 孝康	NPO 法人遺伝子栄養学研究所理事
委員	村上 淳	北海道観光機構地域連携担当部長

## (次第)

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 需要開拓の取組状況について
  - (2) 室蘭地区工業用水道改修事業について
  - (3) 施設管理包括委託の検証について
- 3 その他  
石狩湾新港地域工業用水施設見学会について
- 4 閉会

---

## [意見等要旨]

(事務局より資料の説明後、委員より下記のとおり意見等があった。)

- 1 需要開拓の取組状況について
  - 当初に比べ、幅広く多角的に取り組まれているので今後も継続すること。
  - 需要想定と実績給水量の差が大きくなってきているので、今後、受給のギャップをどうしていくのか、数字だけの説明ではなく、ケースに応じた具体的な説明もできるようにすること。
  - 石狩湾新港地域の企業が地下水から水道水へ切り替わるにあたり、小樽市、石狩市、道経済部などに対し配慮を行いながら、切り替わる企業に対して、工業用水を提案していくこと。
  - イメージキャラクター募集に関しては、パブリシティを積極的に行うこと。
  - 石狩湾新港地域企業誘致のパンフレットを、「工業用水を必要としている企業」といったターゲットを意識して積極的に使用すること。ノベルティグッズについても同様。
  - 工業用水の新名称は、一般の方々にわかりやすい名称もよいが、実際に使用している企業、興味を持たれている企業の意見を聞くこと。
- 2 室蘭地区工業用水道改修事業について
  - 安定供給に向け事業の実施は必要であるとともに、費用便益比の観点からも、事業計画に基づいて事業を実施することは妥当である。
  - 東日本大震災を教訓に、施設の耐震化事業に対する国の関与を求めて行くべきではないか。また、耐震化を検討する上で、被害の状況把握が必要ではないのか。
- 3 施設管理包括委託の検証について
  - 委託先の財務状況の検証については、受託者に配慮の上、分析内容や検証方法について整理し、適切に取り扱うこと。